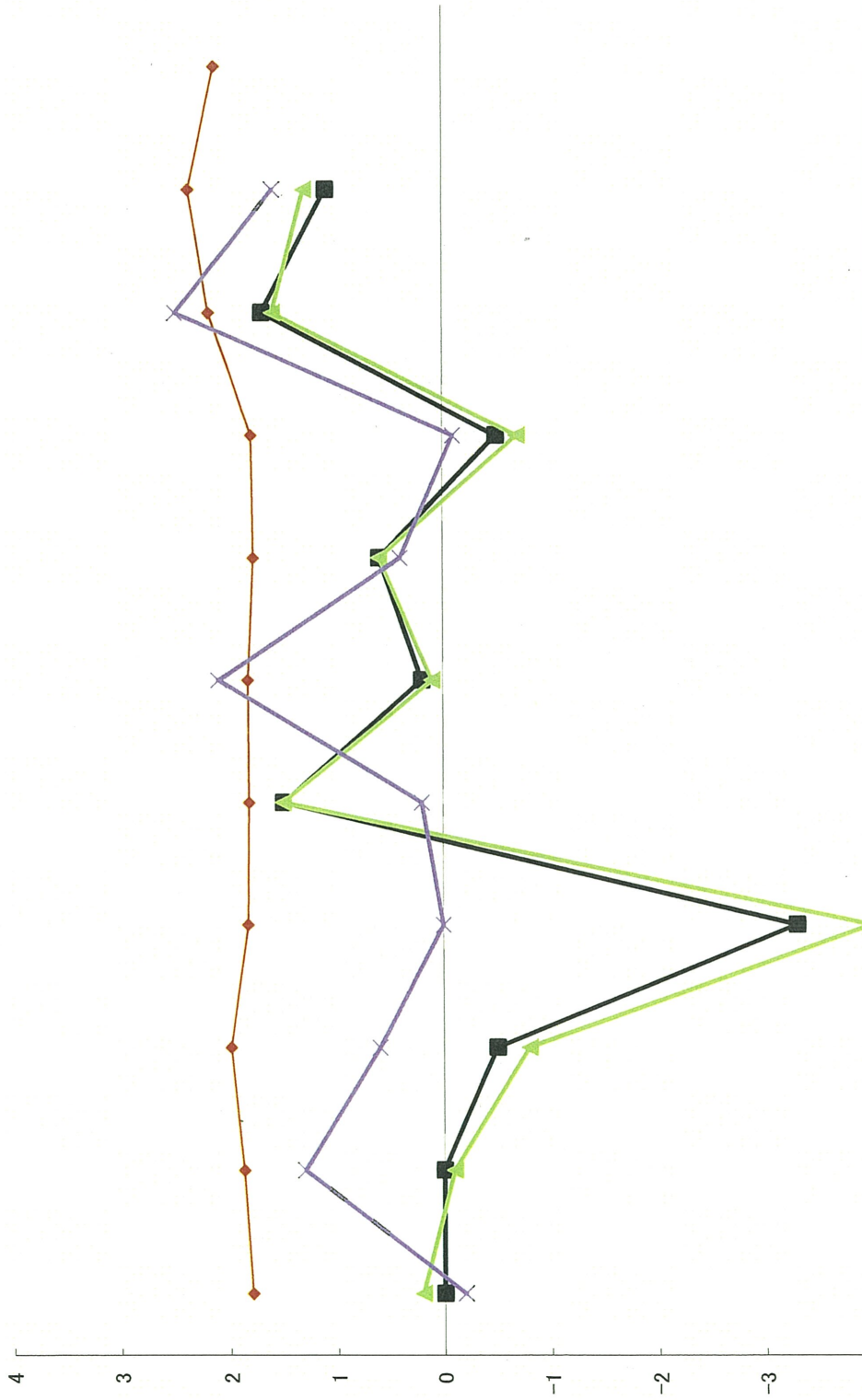


春闘及び賃金センサスのアップ率の推移

%



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
春闘アップ率	1.79	1.87	1.99	1.83	1.82	1.83	1.78	1.80	2.19	2.38	2.14
賃金センサスアップ率(男女計)	0.0	0.0	-0.5	-3.3	1.5	0.2	0.6	-0.5	1.7	1.1	
賃金センサスアップ率(男子)	0.2	-0.1	-0.8	-4.0	1.5	0.1	0.6	-0.7	1.6	1.3	
賃金センサスアップ率(女子)	-0.2	1.3	0.6	0.0	0.2	2.1	0.4	-0.1	2.5	1.6	

(注) 春 闘・・・民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況

賃金センサス・・・賃金構造基本統計調査報告

## 標準給付基礎月額（障害補償費・遺族補償費）の算定方法について

### 1 標準給付基礎月額の算定方法

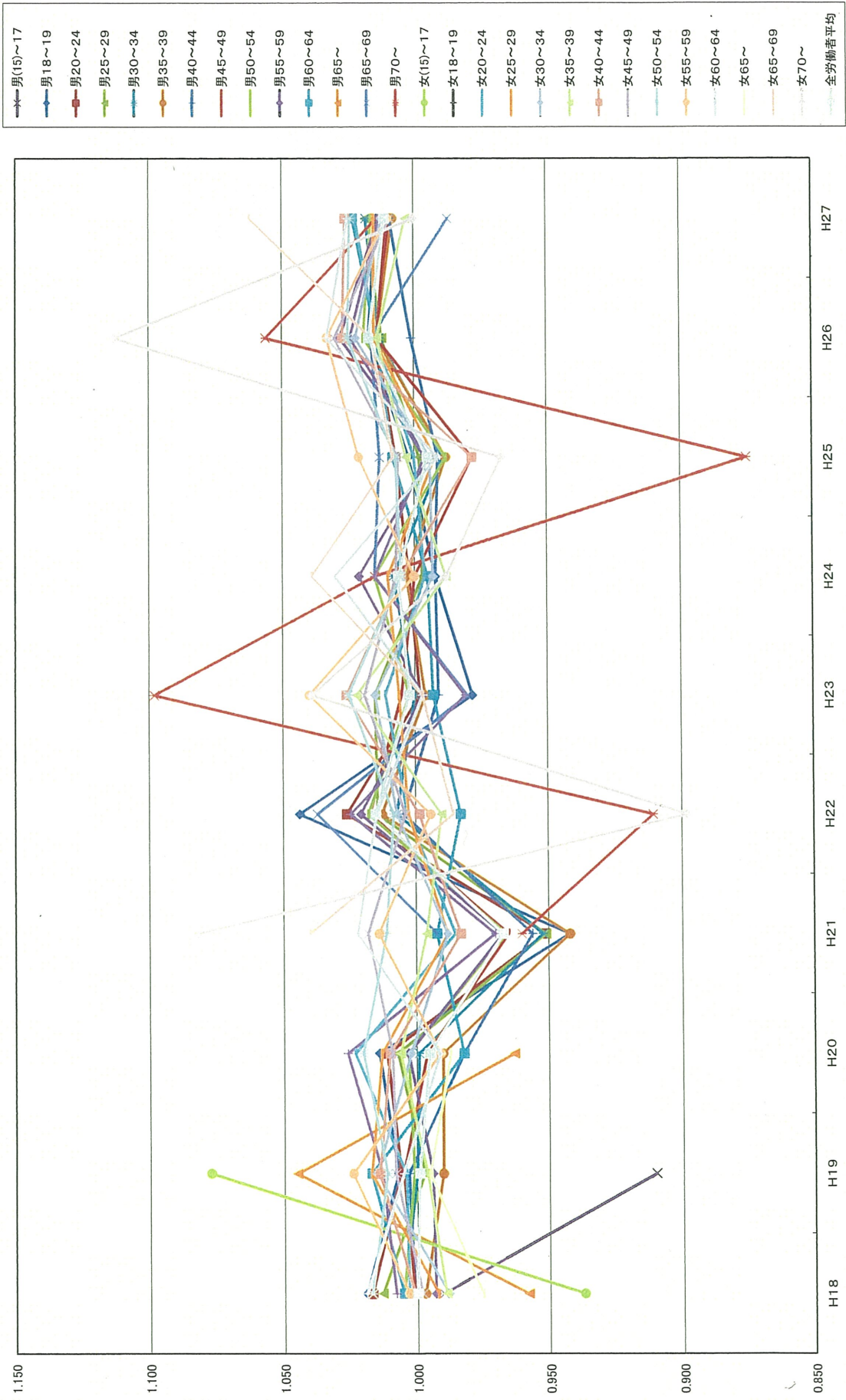
障害補償標準給付基礎月額の算定は、前々年の賃金センサスによる労働者の性別及び年齢階層別の平均賃金の80%（遺族補償の月額にあつては70%）に、前年の賃金推計アップ率を乗じて算出する。

また、激変緩和措置として、平成14年度改定から、賃金センサス全体の推移と2.5%以上乖離している年齢階層については、翌年そのズレを戻す傾向にあることが統計的に有意であったことから、回帰分析手法を用いて補正して改定額を算定している。さらに、平成21年度改定から、前年の標準給付基礎月額から2%以上増減していた年齢階層については、その増減率をプラスマイナス2%としている。

### 2 賃金推計アップ率の算出

賃金推計アップ率の算出に当たり、賃金水準の変動は男女間に差異があることから、現実の賃金水準の変動を推計アップ率により反映させるため、平成26年度改定から、賃金センサスを用いて、男女別に賃金推計アップ率を算出している。

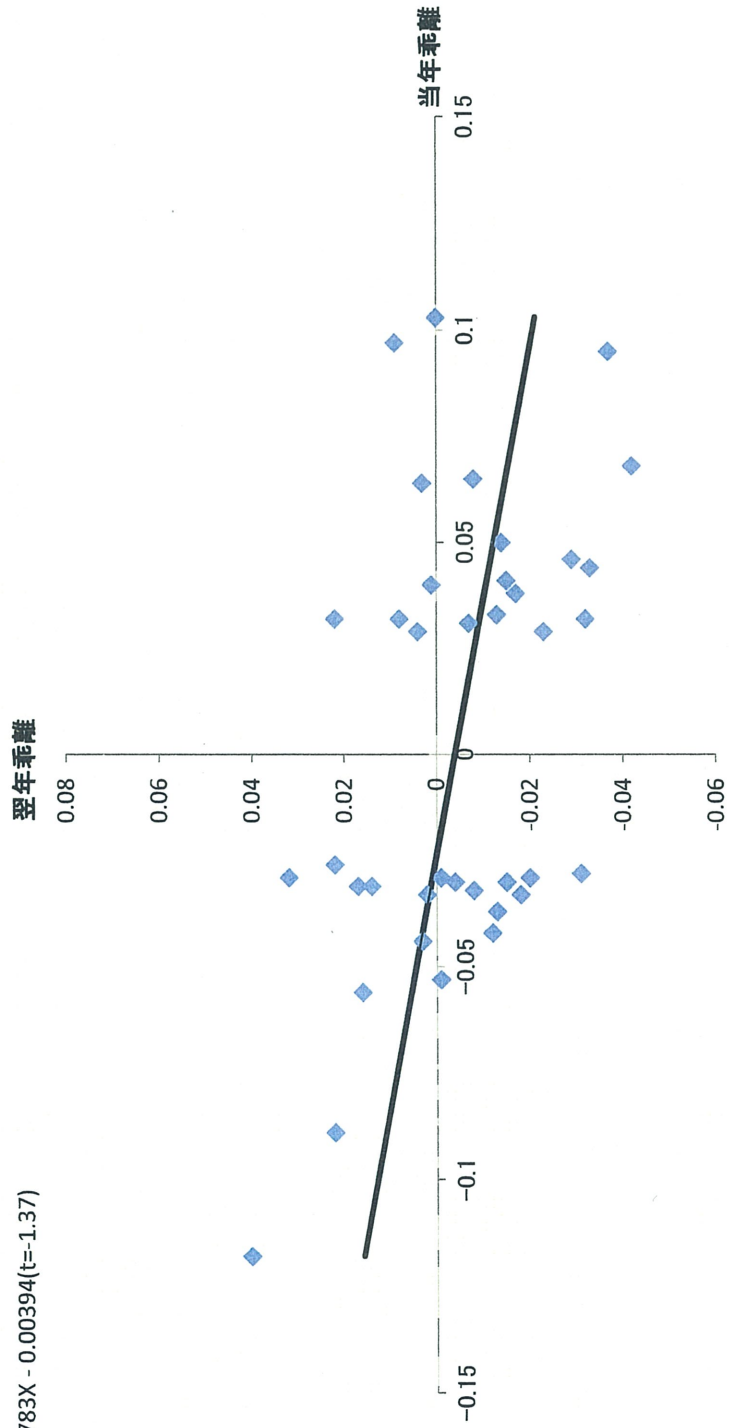
# 賃金アップ率のトレンドグラフ



年齢階層別賃金センサスアップ率における全労働者平均アップ率から当年乖離(X)と翌年乖離(Y)との相関分析概要(男子)  
 (統計的手法(回帰分析)に基づくデータ処理後の分析結果)

統計数値	
相関R	0.45
t	-1.37

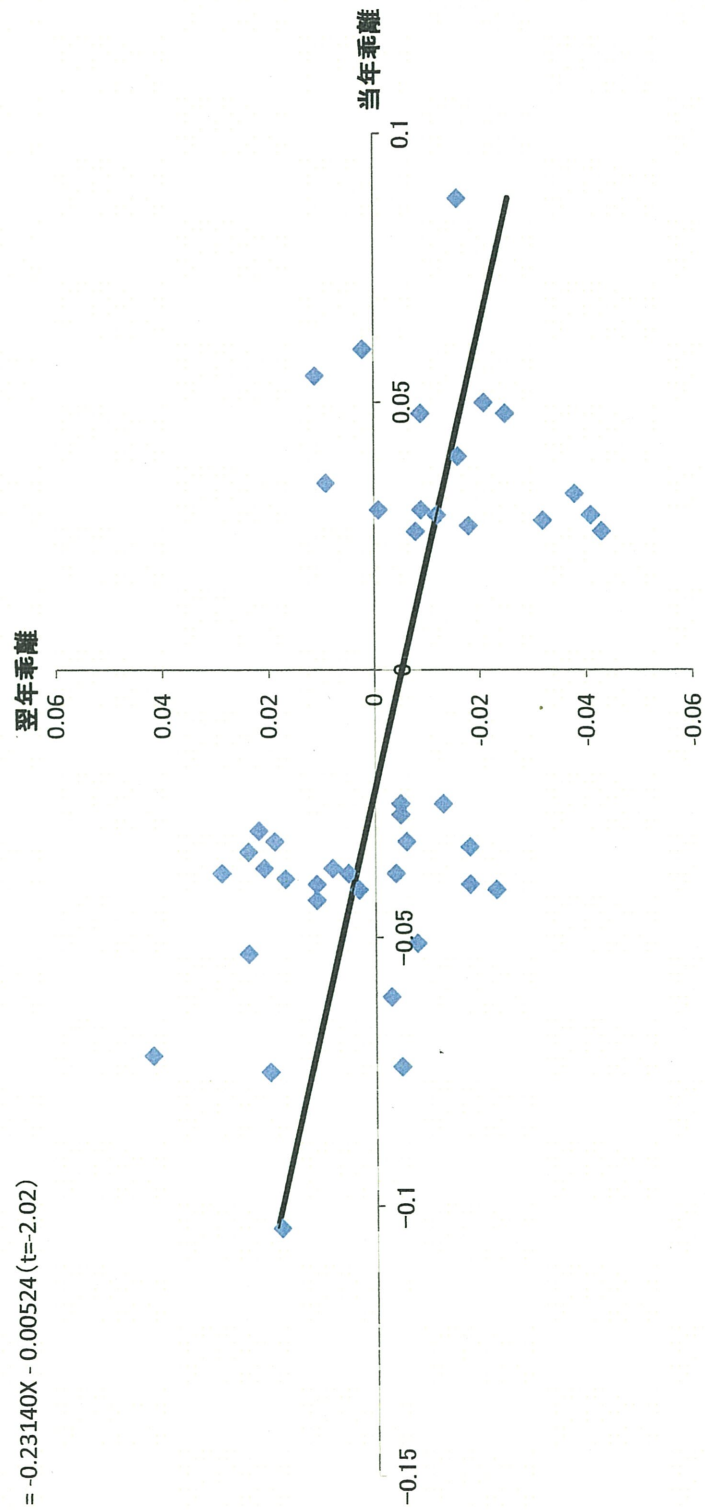
$Y = -0.16783X - 0.00394 (t = -1.37)$



年齢階層別賃金センサスアップ率における全労働者平均アップ率から当年乖離(X)と翌年乖離(Y)との相関分析概要(女子)  
 (統計的手法(回帰分析)に基づくデータ処理後の分析結果)

統計数値	
相関R	0.53
t	-2.02

$Y = -0.23140X - 0.00524$  (t=-2.02)



平成29年度 障害補償標準給付基礎月額試算（案）

賃金構造基本統計調査報告の実績値			
	H26 (千円)	H27 (千円)	H28 (千円)
全労働者平均	329.6	333.3	337.7
男子	365.7	370.3	374.9
女子	255.6	259.6	260.5
		増減額 (千円)	増減率 (%)
		3.7	1.1
		4.6	1.3
		4.0	1.6

賃金推計アップ率	
男子	0.3%
女子	0.8%

年齢階層	H26賃金構造基本統計調査報告	H27賃金構造基本統計調査報告	増減額	増減率	増減率(男女別平均)との乖離	H28障害補償標準給付基礎月額	H29障害補償標準給付基礎月額		増減額	増減率	上下2%緩和措置
							賃金推計アップ率を 加算(補正前)	回帰分析後 (補正後)			
25 ~ 29	278.7	283.7	5.0	1.8%	0.5%	223.7	227.7	4.0	1.8%		
30 ~ 34	320.6	326.3	5.7	1.8%	0.5%	257.3	261.9	4.6	1.8%		
35 ~ 39	361.9	364.7	2.8	0.8%	△0.5%	290.4	292.7	2.3	0.8%		
40 ~ 44	396.8	400.2	3.4	0.9%	△0.4%	318.4	321.2	2.8	0.9%		
45 ~ 49	437.8	442.3	4.5	1.0%	△0.3%	351.3	355.0	3.7	1.1%		
50 ~ 54	454.0	461.2	7.2	1.6%	0.3%	364.0	370.1	6.1	1.7%		
55 ~ 59	432.6	438.2	5.6	1.3%	0.0%	343.9	351.7	7.8	2.3%	2.0%	
60 ~ 64	300.5	307.5	7.0	2.3%	1.0%	241.2	246.8	5.6	2.3%	2.0%	
65 ~ 69	280.5	276.9	△ 3.6	△1.3%	△2.6%	225.1	222.2	△ 2.6	△1.2%		
70 ~	273.1	276.9	3.8	1.4%	0.1%	223.1	222.2	△ 0.9	△0.4%		
25 ~ 29	239.4	242.9	3.5	1.5%	△0.1%	192.9	195.9	3.0	1.6%		
30 ~ 34	255.4	258.5	3.1	1.2%	△0.4%	205.0	208.5	3.5	1.7%		
35 ~ 39	266.7	267.4	0.7	0.3%	△1.3%	214.9	215.7	0.8	0.4%		
40 ~ 44	274.1	281.3	7.2	2.6%	1.0%	219.6	226.9	7.3	3.3%	2.0%	
45 ~ 49	282.2	284.7	2.5	0.9%	△0.7%	224.8	229.6	4.8	2.1%	2.0%	
50 ~ 54	276.7	283.4	6.7	2.4%	0.8%	221.4	228.6	7.2	3.3%	2.0%	
55 ~ 59	266.7	269.5	2.8	1.0%	△0.6%	210.8	217.4	6.6	3.1%	2.0%	
60 ~ 64	225.7	231.3	5.6	2.5%	0.9%	179.1	186.6	7.5	4.2%	2.0%	
65 ~ 69	217.7	231.2	13.5	6.2%	4.6%	173.4	186.5	10.3	5.9%	2.0%	
70 ~	236.7	236.7	0.0	0.0%	△1.6%	176.8	190.9	14.1	8.0%	2.0%	

性	年齢階層	補正係数 (a)	切片 (b)	H27乖離差		H28年賃金推計アップ率	
				(X)	(Y)	H28年賃金推計アップ率	H28賃金推計アップ率を補正
男	65 ~ 69	-0.16783	-0.00394	-0.026	0.0004	100.4%	
女	65 ~ 69	-0.23140	-0.00524	0.046	-0.0159	99.3%	

平成29年度 遺族補償標準給付基礎月額試算 (案)

資金構造基本統計調査報告の実績値			
	H26 (千円)	H27 (千円)	増減額 (千円) 増減率 (%)
全労働者平均	329.6	333.3	3.7 1.1
男子	365.7	370.3	4.6 1.3
女子	255.6	259.6	4.0 1.6

資金推計アップ率	
男子	女子
0.3%	0.8%

年齢階層	H26資金構造基本統計調査報告	H27資金構造基本統計調査報告	増減額	増減率 (%)	増減率 (男女別平均) との乖離	H28遺族補償標準給付基礎月額	H29遺族補償標準給付基礎月額		増減額	増減率	上下2%緩和措置
							資金推計アップ率を 加算 (補正前)	回帰分析後 (補正後)			
25 ~ 29	278.7	283.7	5.0	1.8%	0.5%	195.7	199.2	3.5	1.8%		
30 ~ 34	320.6	326.3	5.7	1.8%	0.5%	225.1	229.1	4.0	1.8%		
35 ~ 39	361.9	364.7	2.8	0.8%	△0.5%	254.1	256.1	2.0	0.8%		
40 ~ 44	396.8	400.2	3.4	0.9%	△0.4%	278.6	281.0	2.4	0.9%		
45 ~ 49	437.8	442.3	4.5	1.0%	△0.3%	307.4	310.6	3.2	1.0%		
50 ~ 54	454.0	461.2	7.2	1.6%	0.3%	318.5	323.9	5.4	1.7%		
55 ~ 59	432.6	438.2	5.6	1.3%	0.0%	300.9	307.7	6.8	2.3%	2.0%	
60 ~ 64	300.5	307.5	7.0	2.3%	1.0%	211.0	215.9	4.9	2.3%	2.0%	
65 ~ 69	280.5	276.9	△ 3.6	△1.3%	△2.6%	197.0	194.5	△ 2.3	△1.2%		
70 ~	273.1	276.9	3.8	1.4%	0.1%	195.3	194.5	△ 0.8	△0.4%		
25 ~ 29	239.4	242.9	3.5	1.5%	△0.1%	168.8	171.4	2.6	1.5%		
30 ~ 34	255.4	258.5	3.1	1.2%	△0.4%	179.4	182.4	3.0	1.7%		
35 ~ 39	266.7	267.4	0.7	0.3%	△1.3%	187.9	188.7	0.8	0.4%		
40 ~ 44	274.1	281.3	7.2	2.6%	1.0%	192.0	198.5	6.5	3.4%	2.0%	
45 ~ 49	282.2	284.7	2.5	0.9%	△0.7%	196.7	200.9	4.2	2.1%	2.0%	
50 ~ 54	276.7	283.4	6.7	2.4%	0.8%	193.7	200.0	6.3	3.3%	2.0%	
55 ~ 59	266.7	269.5	2.8	1.0%	△0.6%	184.5	190.2	5.7	3.1%	2.0%	
60 ~ 64	225.7	231.3	5.6	2.5%	0.9%	156.8	163.3	6.5	4.1%	2.0%	
65 ~ 69	217.7	231.2	13.5	6.2%	4.6%	151.5	163.2	9.3	6.1%	2.0%	
70 ~	236.7	236.7	0.0	0.0%	△1.6%	154.6	167.1	12.5	8.1%	2.0%	

性	年齢階層	修正係数 (a)	切片 (b)	H28年資金推計アップ率	
				H27乖離差 (X)	H28乖離差 (Y)
男	65 ~ 69	-0.16783	-0.00394	-0.026	0.0004
女	65 ~ 69	-0.23140	-0.00524	0.046	-0.0159

1. 障害補償標準給付基礎月額額の改定

(単位:千円)

年齢階層	男子			女子		
	28年度	29年度	アップ率	28年度	29年度	アップ率
25～29	223.7	227.7	1.8%	192.9	195.9	1.6%
30～34	257.3	261.9	1.8%	205.0	208.5	1.7%
35～39	290.4	292.7	0.8%	214.9	215.7	0.4%
40～44	318.4	321.2	0.9%	219.6	224.0	3.3%→2.0%
45～49	351.3	355.0	1.1%	224.8	229.3	2.1%→2.0%
50～54	364.0	370.1	1.7%	221.4	225.9	3.3%→2.0%
55～59	343.9	350.8	2.3%→2.0%	210.8	215.1	3.1%→2.0%
60～64	241.2	246.1	2.3%→2.0%	179.1	182.7	4.2%→2.0%
65～69	225.1	222.5	△1.2%	173.4	176.9	5.9%→2.0%
70～	223.1	222.2	△0.4%	176.8	180.4	8.0%→2.0%
平均アップ率	1.1%			1.8%		
男女計平均アップ率	1.5%					

2. 遺族補償標準給付基礎月額額の改定

(単位:千円)

年齢階層	男子			女子		
	28年度	29年度	アップ率	28年度	29年度	アップ率
25～29	195.7	199.2	1.8%	168.8	171.4	1.5%
30～34	225.1	229.1	1.8%	179.4	182.4	1.7%
35～39	254.1	256.1	0.8%	187.9	188.7	0.4%
40～44	278.6	281.0	0.9%	192.0	195.9	3.4%→2.0%
45～49	307.4	310.6	1.0%	196.7	200.7	2.1%→2.0%
50～54	318.5	323.9	1.7%	193.7	197.6	3.3%→2.0%
55～59	300.9	307.0	2.3%→2.0%	184.5	188.2	3.1%→2.0%
60～64	211.0	215.3	2.3%→2.0%	156.8	160.0	4.1%→2.0%
65～69	197.0	194.7	△1.2%	151.5	154.6	6.1%→2.0%
70～	195.3	194.5	△0.4%	154.6	157.7	8.1%→2.0%
平均アップ率	1.0%			1.8%		
男女計平均アップ率	1.4%					

[参考].年齢階層別被認定者数比率(平成28年9月末)

年齢階層	被認定者数比率
25～29	0.3%
30～34	8.9%
35～39	13.6%
40～44	15.3%
45～49	10.2%
50～54	5.7%
55～59	3.7%
60～64	4.2%
65～69	6.8%
70～	31.3%

被認定者の総数は34,491人